



老いゆえの美しさ

第 15 号
平成 17 年
2 月 発行

社会福祉法人 りんさく福祉会

理事長 須田 滉

恵まれない子をそっと抱くマザー・テレサの顔に刻まれた「しわ」、それは人の心をやさしく強くうちます。皺はしみとともに皮膚の加齢現象の一つとされています。若返りを最大の願望とする現代人にとって、老いの象徴である皺は最大の敵でしょう。皺をなんとか防ぎたい、取り除きたい。とりわけ女性は憂き身をやつしているのが現状ではないでしょうか。喩えて、皺のない人の肌をすべすべした「絹地」とすれば、皺のある老人の肌は使い込んだ「木綿地」のようなものです。皺のない絹地は艶やかですべすべして冷たい感じを与えますが、皺のある木綿地はごわごわしていても温かくてやさしい味わいがあります。

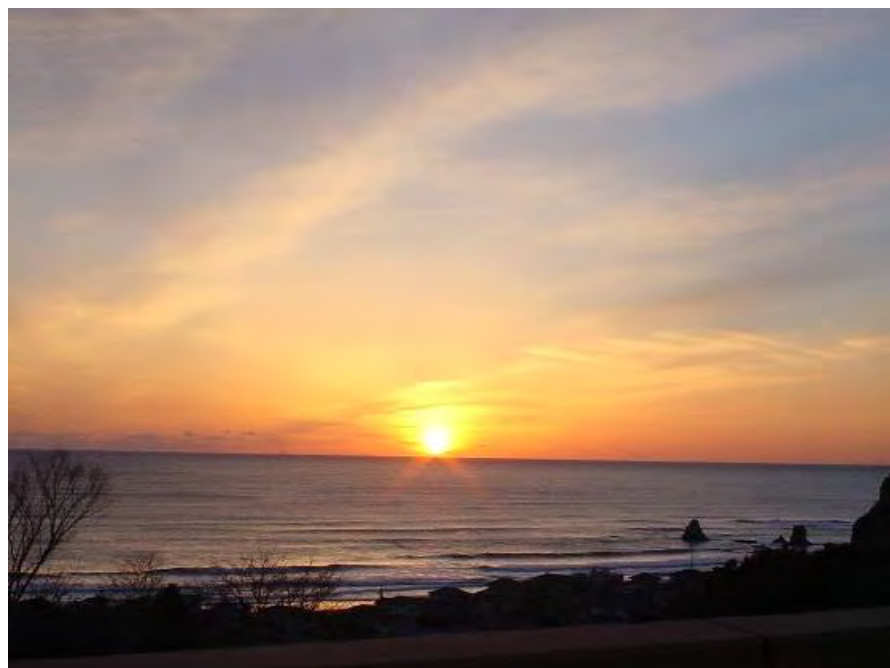
若く十九歳、希望と信念に満ちて修道女になったマザー・テレサは、年を経て亡くなる寸前までインド・カルカッタの地にて社会福祉に貢献しました。平成九年九月五日息を引き取ったという新聞記事に載せられた顔写真は皺の刻まれた美しい顔でした。多くの方々がご存じのあの写真です。

皺は老いゆえの現象であり、皺そのものが醜いものではありません。醜い皺もあれば、美しい皺もあります。決して、若さは美しく、老いは醜いというわけではありません。その人の心が美しいか醜いか、ということに尽きると思われまします。しかし、美に対する観念は、人間の何に価値をおくかという「文化」によって大きく左右されます。現代日本や先進国では、一般に多くの老人はその老いゆえに醜く見え、したがって皺も醜く見えると感じてしまします。それに対し、老いに価値をおく国々の老人は、その老いゆえに尊敬されて美しく見え、当然のように皺も美しく見えます。

子供が年寄りの顔を描くとき、かならず皺をはっきりと描きます。子供にとって、お

じいさんやおばあさんが「やさしい」と思えるのは、その皺のせいかもしれません。すくなくとも、純真な子供の目には、皺は醜くは見えないのです。

最後に、マザー・テレサの愛についての言葉、『人生は愛すること、そして、愛されることの喜びそのものです。愛は「与えること」で一番良く表現されるのです。そしていま学びにあるあなた方は、この「与えること」が痛むまで「与えること」を学ぶのです。何故ならば、これこそが本当の愛の証だからです。』を心の奥底で噛みしめてください。そして望洋荘に住む高齢者の方々の顔貌から長年の生き様を読みとって下さい。みなさんの心からの愛をあげてください。



望洋荘より見る日の出

元旦の朝には天気恵まれずに初日の出を拝む事は出来ませんでした、翌日 2 日には綺麗な日の出を拝む事が出来ました。

(薄磯海岸通りにて撮影)

「昔 炭砒があつた」

四十年前まではいわき市に幾つもの炭砒があつた。常磐炭砒が一番大きく、大小様々な炭砒があつたが、私が働いていた炭砒は内郷白水にある小さい炭砒だつた。

♪朝も早よからよりカンテラ下げてない♪のとおり炭砒内にトロツコで入つた。所々に電燈はあつたが暗かつた。ガスの出ている所があつてカンテラが消えてしまつたりした。抗内はものすごく暑かつたり、冷たい風が吹き込んだりと過酷だつた。地下三千尺ぐらい潜つた。カンテラは照り返しが付いていて明るさを倍にしてくれる板の様な物なんだよ。抗内には一日中また戦時中は男手が少なく次の日まで入つていた事もあつた。弁当持つて行つてね、だからネズミも居た。あの暗い中、弁当の食べ残しを食べていたんだらうね。私らは夫婦で入つていた。夫が先山と言ひ私は後山と言つた。格好は男はフンドシ姿、女は腰巻一つ上は襦袢一枚。目には水浴びの時使う様な眼鏡を掛け（今で言うゴーグル）てね。外に出て眼鏡を外すと粉塵で黒くなつてゐる所とそうでない所が有り面白い顔になつてゐた。抗内は太い抗木でやぐらの様に組んで行く、うまく出来てたね。今想像ばあの頃は若かつたし、よくやつたと思うね。男と同じ仕事をしてたんだもんね。夫と二人で真つ黒くなつてやつたのもそれなりに楽しかつた。抗内は石炭化石館で見ると同じだよ。あれは良く出来てゐるよね。懐かしくて涙が出てしまふよ。

『望洋荘「薄磯海岸通り」 M・Iさんからの話を取りまとめました。』



常磐炭砒の歴史

安政2年に片寄平蔵氏が湯の岳の麓、内郷白水の「弥勒沢」で石炭の露頭を発見したのが始まりであり、その後明治・大正・昭和の基幹産業として日本経済の発展に貢献した。昭和51年8月に常磐炭砒西部炭砒の閉山によって125年の歴史に幕を閉じた。

昨今とある所の特養ホームで「ノロウイルス」感染による死者が出て新聞・テレビ等で大きく報道されました。発熱を伴う激しい嘔吐・下痢という症状が突然の様に現れる。通常であれば風邪による胃腸炎の様に思われるが、抵抗力の弱い子供や高齢者には命取りになる事もあります。

これは一大事と、感染防止する方法、もし感染者が発生した時の対処法等を調べて、朝のミーティングで職員に周知徹底を呼びかけてました。そんな矢先に、或るユニットより三名の入居者に下痢の症状が現れたという報告がありました。今まで「ノロウイルス」については、この様に大きく問題視されていなかった為に認識が乏しく、不安を感じ協力病院である国立いわき病院さんへ相談したところ、すぐに診察して戴ける事になりいわき病院さんにて受診しました。検査の結果まで4～5日かかるという事で、万一を想定し入院治療する事になりました。

一方施設内では、他の入居者に同様の症状が現れないか注意を強め、又、感染防止（排泄物の処理の仕方・消毒方法等）の強化を図り、入院した3人が入居していたユニット内は消毒液による床清掃と空中散布を実施、一時的に面会・食べ物の持込を禁止とさせて戴きました。お蔭様で、その後入居者に同様の症状が現れる事も無く、現在は入院していた入居者三名も検査の結果ノロウイルスは検出されず、ただの胃腸炎と診断され無事退院して来ました。大事に至らず一件落着致しました。この場をお借り致しまして、皆様のご協力に御礼申し上げます。

今後とも入居者様の変化に注意を払い、ノロウイルス・インフルエンザ等の感染防止を実施すると共に健康管理に万全を期していきたいと思ひます。

いわき寄席 其の三

ネ夕帳から

須田 混

毎度、稚拙なお申しで申し訳御座居ません。仏の顔も三度までと申しますので、須由の田庵もこの辺でおいとまを致しませぬと。甚だ御退屈かとは存じますが、欠伸の程はもう暫らく御辛抱をお願い申し上げます。

いわき寄席も九年間、五十回を数えるに及び、三十数名の師匠（真打）を迎えるに至っております。世に四百人余の噺家が居ると言われておりますので、一割弱の噺家のお声に接した勘定になるようです。噺のネタ（根多）も百二十以上にのぼっており我々乍ら驚いているところです。今回は、このネタの内容分類等を中心に若干述べさせていただきます。

毎度、慌て者が登場し、いつものようにしくじっては笑いを呼ぶ滑稽話。「青菜」などが代表的な一品でしょう。又、笑わせる事を主目的とはせず、登場人物の心の深奥を描きだし、聞き手の涙を誘う、「子別れ」「文七元結」などの人情噺。「中村仲蔵」「淀五郎」等の演目は歌舞伎役者に成り切つての芝居噺。かと思えば、「紙入れ」など大人のエロチズムが巧みに描写される艶噺（艶笑噺）。更には、遊女とその客が織り成す悲喜こもごもを語った「明烏」「三枚起請」に代表される郭噺。他にも、長屋噺、怪談噺、どなたも御存知の「時そば」のような仕込み噺。仕種に重きを置き、面白可笑しく演じる「欠伸指南」のような仕方噺、等々枚挙に遑がありません。新作落語を含め、千以上といわれるネタは内容によりそれぞれに分類されるようであります。

我々医者ネタは、長年蓄積されてきたカルテや手垢の滲んだ医学書の中に埋蔵されています。

積読になつていゝ高価な医学書は枕代わりにはなつても、枕のタネどころか患者の手助けにもなかなか成らないものでもあります。それはともかく、古典的なものとしては、頭痛噺、卒中噺、癩噺、仙痛噺などが列挙出来ましようか。極めて怖いところで癌噺、絵異図噺と相成りますか。まあ、比較的新しいところでは花粉噺（嘗ては花柳噺という名前だけは艶っぽいのが流行つたようだが）。何とか頑張つて、自分自身が陥らないように極力努めたい惚け噺、失禁噺、ぼっくり噺。その他、糖尿噺、狭心噺、肝炎噺…等々と病い噺の範疇は、落語のネタの数々を遙かに凌駕すること間違いない。

脱線はこれぐらいにして落語の話に戻りましょう。数有るネタを、噺家は自分

のものにするために日夜精進し、且つ、芸の幅を広げるため他の芸事や遊び事にも手を染めるようであります。こうまでしても、自分達は芸能界においては、芸能人でなく芸人であると卑下しています。私に言わせればとんでもないことで、芸能人より格上の芸能人と呼ぶに相応しい人ばかりです。彼等がいわき寄席の為に書き記した色紙にもなかなか味のある言葉があります。幾つかご披露いたしましょう。落語家らしく「笑わせる までに噺家 さんざ泣き」（春風亭一朝）、「噺家は笑わずまでが泣く修行」（春風亭正朝）、「笑壳繁盛」（三遊亭鳳楽）、「笑う人 この世の中を 長く生き」（桂才賀）。奇麗なところで「山里に おそき桜や子守歌」「うぐいすの 初音うれしや 梅の花」（初音家左橋）、「柳かな 風の吹くまま ふかぬま」（柳亭市馬）。更には巧みな絵を描いた色紙も数多くあります。いずれ機会があれば展示をとも考えております。

あれこれと落語について知ったかぶりを述べて参りましたが、最後、ご参考までに古典落語を掲載した書籍を紹介させていただきます。三書房から発刊されている「古典落語体系全八巻」が現在のところ最も詳しいかと思ひます。しかし、書物には枕噺は有りませんし、又、それぞれの噺家独特の仕種もありません。更には、肝要な「噺の間」についても味わうことが出来ません。直接に生の噺を聴くのが一番であります。いわき寄席百回を目指して頑張りたいと思ひますので、ご支援の程をお願いいたします。

落語は落（お） ちがいのちな（な）り
医療は終（し） 焉軽んず可（か）らず
落語は枕（ま） ばなしにて事（こ） 始め
医療は癒（い） しの言葉で苦（く） を除く
話術を寄（よ） 席にて高めら（ら）ん

（おしまいよ らくごかな） お粗末でした。

（平成元年「いわき市医師会報」への寄稿文から 現在「いわき寄席」九十回になつています。）

今月の言葉その⑬（倫理研究所編標語集から）

名言よつちのいふこと

おしゃべりに悪い人はいないが、どうやら独り善がりな人が多いようだ。そこで提案、言いたいことをちよつと横において、ちゃんと聞くことから始めてはいかが？

介護老人福祉施設 『望洋荘』 職員紹介⑮&コメント集



介護士 山本 大樹

入社してから半年が経ちました。以前は、保健施設で一年間働いていましたが途惑う事ばかりでした。少しずつ慣れて来ましたがまだまだ勉強不足です。いつも利用者様が笑顔で安心して過ごせるように仕事をして行きたいと思っています。利用者様の笑顔と「ありがとうございます」の言葉に支えられながら頑張りたいと思います。



介護士 幸田 真由美

私が望洋荘で仕事を始めてから、もう半年が経ちます。施設での仕事は初めてでしたので戸惑いを感じる事もありましたが、たくさんの方々の利用者様と接し、笑顔に励まされながらここまでやって来れた様な気がします。

日々、反省をしながらの毎日ですが、利用者様の方々の安全と居心地の良い環境作りを心掛けて、これからも仕事をして行きたいと思っています。



介護士 比佐 昌子

皆さんこんにちは、私は望洋荘に入職して半年が過ぎ様としています。私にとって「介護」というものは、ゴールがなく、奥の深いもので、長年遣っても、常に勉強になる事ばかりの様気がします。未熟者ではございますが、これから、笑顔を忘れず頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願致します。

『望洋荘』に住んでみて 第二話

先月に引き続き『望洋荘』の各部門の内部の紹介をします。今月は「薄磯海岸通り」です。

居室部門（ユニット） 薄磯海岸通り一丁目一、二、三、五番地の四個室があり、ホールを中心にします。ここには十六名の方々が支援する職員とともに住んでいる共同体です。



薄磯海岸通りへは、正面玄関を入り直ぐ右へ曲がり奥のエレベーターの前を通って突き当たりの階段を二階に上がると右側にあります。

薄磯海岸通りは、太平洋側に面し施設の中で一番海が綺麗に見えるユニットです。テイルームから太平洋を見ると正面には広大な水平線、右側には塩屋崎灯台、左側には二見ヶ浦が景観出来ます。今年の元旦には入居者様のほとんどが早起きされてテイルーム前に座り、初日の出が出るのを待っていました。しかしながら天気恵まれず初日の出を拝む事は出来ませんでした。しかし翌日には綺麗に日の出を拝めました。

利用者数は、十六名で最高年齢九九才（今年五月で百歳望洋荘の最高齢者です）最小年齢六四歳（望

洋荘の最小年齢者）平均年齢八四歳です。

利用者の皆様さんは、穏やかでお話好きです。車椅子を使用されている方がほとんどですが、自操される方も半数はいらっしゃいます。リハビリ体操やゲームなどにも参加され、感動すると涙を流される方もいらしゃいます。たくさん歌を知っていて、皆様の前で自慢ののどを聞かせてくれる方やもうすぐ百歳を迎えられる方は何かと周りの方々の世話を焼いて下さいます。穏やかな雰囲気でのユニットの方々も、遊びに来られる事が多いユニットです。皆様、甘い物が好きです。時代劇や懐メロなどの歌番組やスポーツ観戦が好きです。最近では毎月の誕生会などの行事について利用者同士で会話がはずんでいます。



入居者様一同



職員一同

編集後記

『望洋荘』便り

平成十七年二月一日発行

発行所 いわき市

社会福祉法人 平豊間字合磯三十九番地
りんさく福祉会

介護老人福祉施設 望洋荘

電話 (0246) 55-7373
FAX (0246) 55-7255